

再建中の日本建設「建設事業」

機動建設工業が取得

機動建設工業は十九日、経営再建中の日本建設（大阪市、積山吉興社長）から主力の建設事業を譲り受けると発表した。

取得額は明らかでないが、二十億—三十

億円程度とみられる。日本建設の建設事業は利益が出ており、不振の不動産事業や有利子負債から分離すれば再生が可能と判断した。

三月をメドに日本建設を分割し、建設事業を同

社子会社の日興エンジニアリング（大阪市）が継承する。日本建設の株や債券を保有する企業再生ファンドの日本エンデバーファンド（東京・渋谷）が日興エンジニアリングの全株式を取得し、社名を

日本建設に変更。機動建設に譲渡する。譲渡後は機動建設が新・日本建設の株式を約九九%保有し、役員も派遣する。日本建設は一九五五年

設立。不動産事業の不振で業績が悪化していた。二〇〇五年三月期の売上高は約三百十三億円で、そのうち約三百十二億円を建設事業が占める。日

本エンデバーファンドは三井住友フィナンシャルグループやゴールドマン・サックス証券グループなどが〇三年に設立した。